

## 「Mushroom Seijin appearance」

井上 龍彦

Tatsuhiko INOUE

キーワード：彫刻，テラコッタ，焼き締め，黒陶土

素材：黒陶粘土

技法：焼き締め

制作年：2019年

第30回日本基礎造形学会 神戸大会 ギャラリートークにて 作品発表  
(2019年9月7日～8日 神戸芸術工科大学 芸術工学教育センター ギャラリー・セレンディップ)

### Geometrical solid processing series (幾何形体加工シリーズ)

作品のイメージは円柱や球体(半球など)を切ったり、くっつけたりしていくつかのエスキスをつくり、その中の1つからキノコ(しめじ、しいたけなど)のイメージが浮かび、そこから三本のキノコが合わさり、「キノコ星人」が生まれる。

黒陶土で直径43センチの円形をつくり、輪積み形式でドーム形状にする。それと長さ20センチ、直径8センチほどの3本の円柱をつくる。乾燥後(少し湿り気がある状態)、ドーム形状の底に3本の円柱をつけ、三足とする。

焼き締め(1250℃)で焼成し、上部をカーボン(黒煙等)で着色、研磨し光沢をつける。

実験的な作品であるが、オーソドックスな幾何形態を加工しいろいろな組み合わせの仕方が考えられるし、組み合わせたものがどのように見えるか、見せたいか等、イメージ遊び、造形表現課題としても魅力的なひとつである。



「Mushroom Seijin appearance」